

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	中津川市立中津川幼稚園		
実 施 期 間	平成25年11月18日(月)		
実 施 概 要	○命の学習：獣医師の講演会 ・事前アンケートを行い。当日に向けて打ち合わせを行う。 ・動物の心臓の音を聞く。 ・映像を通して学ぶ。 ・皆で最後に歌をうたう。 ・後日感想を書いてもらうように用紙を配布する。		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	11人	計 12人
	地域関係者	1人	
実 施 状 況	・最初に園で飼っているうさぎや動物病院で飼われている、にわとり心臓の音を聞く。 ・各学年の子ども達一人ずつと先生一人の心臓の音を聞く。 ○映像をとおして「いのち」のお話を聞く。 ① 動物病院にくる動物の話。②ペットが人に与える影響 ③心臓はどんな音がするか。心臓が動くことは=生きていること。 ④心臓が止まるとどうなるか(犬の死を通して一度死んだら生き返らないからこそ、いま生きている「命は大切に」「一人に一つしかない大切ないのち」理解を深める。⑤動物の赤ちゃん誕生から：両親がいたから今の自分があることの理解をする。⑥動植物の命を頂き人は生きているので給食のメニューを振り返り感謝の気持ちを表す。⑦多様な生物が存在して生きていることの確認。⑧みんなで歌う「手の平を太陽に」の歌を通して共通な認識をする。		
成果及び課題	<保護者の感想より> ・子ども達に分かりやすいようにお話していただいて、子ども達もよく分かったと思います。実際動物の心臓の音を聞けることもなかなかないので良かったです。自分のまわりの命も大切だという事を分かってほしいです。 <成果> ・実際に動物や人間の心臓の音を聞くことで、生きていることの実感や大切さが理解することができた。 ・保護者の参加もあり、親子で共通に命の大切さや、動植物に対しての感謝の気持ちを表すことが大切ということもわかった。 <課題> ・日常の諸活動において、全ての動植物に対してや、両親、周りの大人にたいして常に感謝の心が培うような環境を整えていく必要がある。		